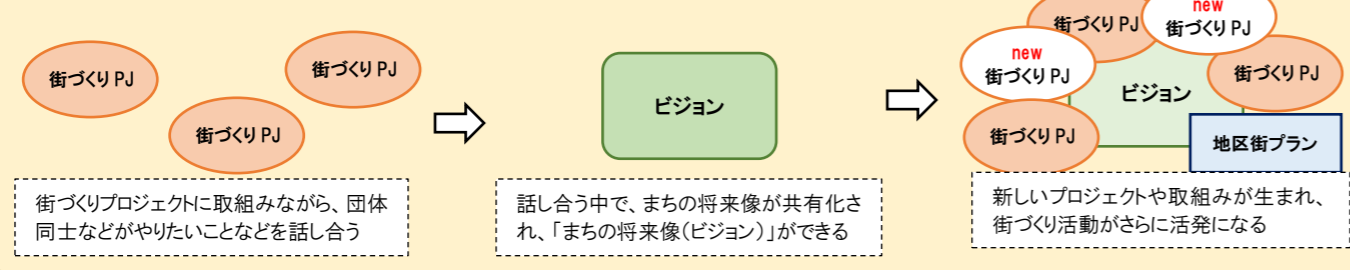


「街づくりプロジェクト」と「まちの将来像（ビジョン）」連携について

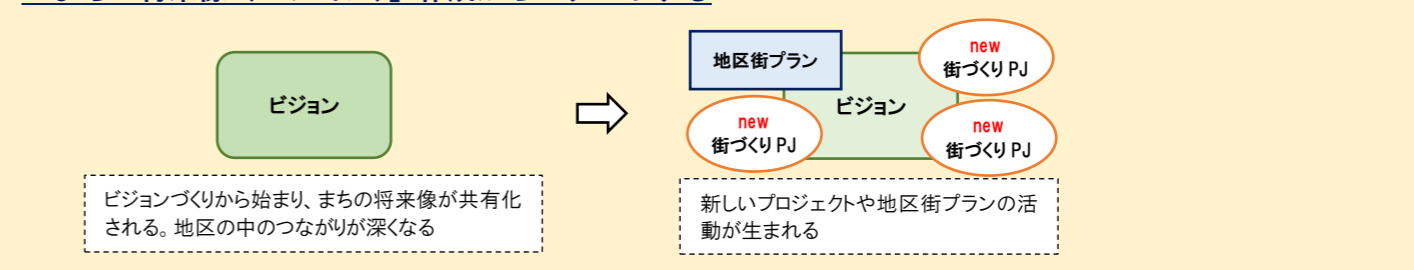
連携のポイント 活動から、ビジョンから、市民はどちらからでも街づくりに取り組める

- 「街づくりプロジェクト」の実施と「まちの将来像（ビジョン）」の作成・実現は、互いに連携しながら好循環を生み出すことで、地区の街づくりを活性化させていく。
- 市民は、目的に応じて「街づくりプロジェクト」「まちの将来像（ビジョン）」のどちらからでも活動に取り組むことができる。

「街づくりプロジェクト」からスタートする



「まちの将来像（ビジョン）」作成からスタートする



『街づくりプロジェクト』

定義 ●自らの地区・まちの魅力を高める取組み。
・地域資源を活かしながら「地区」や「まち」を「つかう」「なおす」「たもつ」「つくる」「みせる」という行為や活動

支援の目的 まちを良くする多種多様な「街づくりプロジェクト」が市内の各所で活発に展開される

改正のねらい これまでよりも広範な街づくりを支援する（団体支援から活動支援へ）

改正後の街づくり = ハードな街づくり × 多様なテーマによる街づくり

新モビリティ × 高齢者支援
空家活用 × 地域のつながり支援
地域の池 × 環境の維持保全
公園活用 × 子育て支援



『まちの将来像（ビジョン）』

定義 ●地区の住民や街づくり地区内で活動する団体（街づくりプロジェクト団体）などが集まり、地区でやりたいこと、やり続けたいことなどを話し合いながら、実現したい将来のまちの姿としてとりまとめたもの

支援の目的 やりたいことを話し合う中で、人と人や、団体相互の新しいつながりや活動が生まれるとともに、まちの将来像(ビジョン)をつくることで、自らの地区・まちを考えるきっかけとする

改正のねらい 仲間づくりや、活動を発展・継続させていく上でのツールにする

やりたいことなどを話し合う中で、人や人、団体相互の新しいつながりや活動が生まれる

まちの将来像（ビジョン）ができ、まちの将来が共有（見える化）できる

ビジョンの構成
名称、区域、目標、方針、
取組みたい具体的な内容、
ビジョンの検証・見直しの考え方

「まちの将来像（ビジョン）」の実現

- 「まちの将来像（ビジョン）」を実現していくために、具体的な個々の取組みを実施
- 例)
- 市民がやりたいことへの取組み
 - 公共空間を活用する取組み
 - 地区のルールづくりの取組み